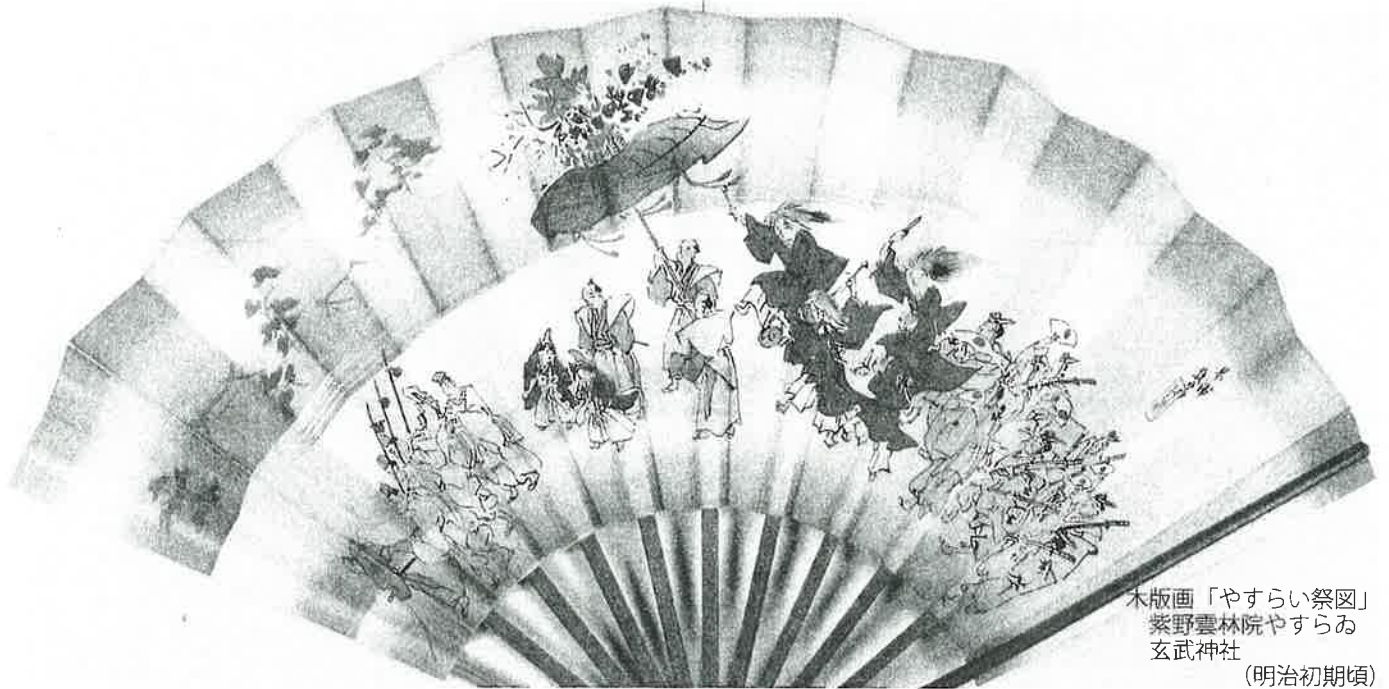


疫病を鎮める

—京都のやすらい祭—



木版画「やすらい祭図」
紫野雲林院やすらお
玄武神社
(明治初期頃)

場所 神戸女子大学古典芸能研究センター展示室
期間 2020年10月5日(月)～12月25日(金)
土・日・祝日休室
時間 10時～17時

喜多文庫所蔵の昭和35年・36年・39年・41年・55年に喜多慶治氏が撮影された写真を中心に、「やすらい祭図」(扇子)、能「夜須良為」(写本・版木)、近世の地誌(版本)などを展示します。

京都今宮神社 やすらい祭

京都市北区紫野、今宮神社境内社疫神社の祭り、やすらい祭。やすらい花の祭ともいう。春の花の散るとき疫神が分散して人を悩ますのでこれを鎮るために鎮花の祭をしたのが起こりと伝う。

この疫神追送の行事が風流化して今の踊りになった。踊歌の繰返しにつく「やすらえ花や」という囃し詞から出た。この踊歌はもとは田歌から出たものらしい。中世に急に興った御霊信仰に影響されて、いつか念仏衆の行う疫神鎮送の念仏踊の形態に固定したものと解される。児女の風流なども一時はこれに参加したらしい。

午後。上加茂、下加茂、上野、雲林院、安居院等の部落の練り衆がそれぞれの部落の宿を出て、道中をし参社。後又各家を巡回して宿二帰る。(喜多慶治氏調査ノートより引用)

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、ご協力をお願いします

- ・風邪のような症状がある方、発熱のある方、感染の疑いがある人が身近におられる方は入室できません。
- ・マスクのない方は入室できません。
- ・混雑を避けるため入室を制限させていただく場合があります。
- ・今後の状況により、やむを得ず閉室とする場合がございます。最新情報はホームページでお知らせいたしますが、念のため事前にお問い合わせください(078)231-1061)。